

## 住民の生活権を蔑らにする東急

それにつけても長年住みなれた住まいが取り壊されるという住民側の悲しみ、辛さを忖度する一片の情も東急側にはないかのようです。だからこそ法律的な要点が満たされているという一点のみをもって半年、一年と言う短い期間を区切って強引に立ち退きを迫ると言うことが如何に乱暴で無慈悲な行為であるかに考え及ばないのです。

何故十年前と言わず、やめた五年前に今日あるを通知して来なかったのでしょうか。それだけの時間軸があれば住民側にも心理的、経済的に対応する余裕が少なからず生じた筈です。そうであれば住民側の狼狽、混乱も少なく、立ち退き交渉における摩擦もよほど緩和されることが予想されただけでしょう。東急と言う企業にはその程度の想像力も働かなかったのでしょうか。

私鉄と言う公共性の高い事業故に私鉄各社は法的にも税制面でも、少なからぬ優遇措置を受けていると聞き及びます。現に高架の耐震工事においてその公共性の故に、国や地方公共団体から少なからぬ工事費補助がなされると聞き及びます。国や国民からこれほどの恩恵を受ける私鉄事業者には自ずからなる道義性と倫理観が求められて然るべきと思われまします。しかるに今回のように大井町高架橋下住民に対する契約解除、立ち退きを迫る態度には、その住民に対する一片の敬意も同情心も無きが如くです。

歳月人を待たず、高架下に長年住み慣れた住民の多くは老いの年齢に達しています。それでも少ない年金

でそこそこの生活が成り立つのは持ち家がなければならずです。ある者は住居の一部を貸すことにより、僅かに小康を得ています。しかし立ち退けばその分の収入が途絶えます。同様に住居の一部を借りて飲食店を営むものは立ち退きとなれば商う術を失い、その日から直ちに収入の道を断ち切られます。そのような苦境に直面した住民の多くは新たに家を建てることも、或いは新たに店を構える資力もないのが実情です。しかも氣力を新たに収入を得る職に就こうにも、年齢、体力の壁が折からの不況と相まって厚く立ちちはだかつております。すなわち立ち退かされる住民の多くは忽ち生活の困窮に直面させられることになるのです。

## 生存権さえも踏みしめる東急

翻って国交省が推進する公共建造物の耐震補強工事に関する要請は国民の財産と安全を守る観点から疑いようもなく正当な行為と言わざるを得ません。それ故その通達要請に沿う東急の行為も正当化される因縁となっておりまます。しからは我々高架下住民は公共の福祉の前に如何なる犠牲も甘受しなければならぬものでしょうか。家を失い、店舗を失い、生活困窮に追い込まれる事態に至っても何ら配慮を受けられない住民と、一方で公費から手厚い補助を受けて工事を進める大企業と、その不公平で片手落ちな状態が如何なる名分のもとに正当化されるのですか。

東急は国交省通達と言うお墨付きを振りかざして自らの立場を正当化し、一方的に交渉期限を設定し、強